

三条市水防学習館

見学・視察にご利用ください



見学・視察でご利用の場合は、目的に応じて下記のプログラムからお選びいただき、体験していただけます。

まずはお電話またはメールにてお気軽にご相談ください。

利用者の声

教科書では学べない多くのことを知りました。三条市の水害や、被害を最小限にするための努力について、学校に戻って話し合います。

三条市小学校

教科書にはない川の恵みを学び、ボールを使った大雨の説明や新聞紙でのグッズづくりを通して、実感を伴って理解できました。

新潟市小学校

体験を通して、日ごろから備えることの大切さを実感しました。今後は学んだことを地域づくりに生かしていきたいと思います。

長野県公民館

三条市の平成16年・23年の災害を教訓とした防災意識向上の取組は、南海トラフ巨大地震や台風、豪雨の課題を抱える私どもにとって大変参考になりました。

高知県副町長会

三条市水防学習館 見学・体験プログラムリスト

	講座名	時間(分)	1人料金(円)	対象	内容・教材	備考
1	川の恵み	10	無料	小～一般	恵みと災いの両面を学ぶことで教育効果が認められています。ここでは豊かな水が生み出す恩恵を画像により理解してもらいます	
2	二度の洪水災害	10～15	無料	小～一般	1/1,250の地図と写真パネルを活用し、洪水の発生過程を地理学的視点に立って時系列に説明します。	
3	国交省 災害対応機材見学	15～20	無料	小～一般	保管されている災害対応車両(ポンプ車・照明車)を見ながら、担当者(小柳建設・国交省)が説明します。	防災ステーション
4	洪水体験(車・ビデオ)	20	無料	小～一般	7.13水害のビデオ視聴と水没車の水圧体験をしながら洪水災害を考えてもらいます。	
5	防災クイズ	15	無料	小～中3	クイズに答えながら館内の展示品を確認します。学習のまとめとしても活用できます。難易度が低いクイズ:A 高いクイズ:B	幼児～小2:A 小3～中3:B
6	避難所で役立つグッズづくり	20～30	無料	小～一般	避難所生活で使う物を、身近な道具で作ります。材料は事前にお伝えしますのでご持参下さい。	
7	避難所体験	30	無料	小～一般	避難所の状況を疑似体験したり、非常用の便利グッズを実際に使用して、体験しながら学んでいきます。	
8	非常持出袋の作り方	20～30	無料	小4～一般	各家庭、個人に合った非常持出袋を考えます。非常持出物品として便利なグッズの紹介や重さの体験などをさせていただきます。	
9	課題解決学習	60	無料	小4～一般	簡単な水害の説明を聞いた後、課題を示し、その課題を解決するためグループ(3～5人)で調べたり、考えたりしてもらいます。その結果を発表し合い多様な考えを共有してもらいます。	
10	テント張体験	60	無料	小4～一般	災害時にプライバシーを守り、エコノミー症候群からも身を守る避難場所はテントだと考えます。そこで実際に家族用テントを張り、テント内の居住体験をして、片付けまで行います。	屋外(雨天中止) ※多少濡れることがあります
11	読図体験 (reading maps)	30～	無料	小～中3	ハザードマップ、防災マップとありますが、マップ(地図)を見る技術がないと意味がありません。ここでは簡易な地図を基に施設内各所にある宝探しをして読図に親しみます。	
12	降雨体験	10～15	無料	小～一般	1時間降水量20mm～150mmの雨を体験できます。どのくらいの雨が危険なのかを体感できるプログラムになっています。	屋外(雨天中止) ※多少濡れることがあります
13	発電機、蓄電池の使い方	20	無料	小～一般	災害時にあると便利な発電機や蓄電池を実際に操作し、どのような使い方ができるか考えます。	
14	土嚢づくり体験	20	無料	小4～一般	洪水時に、家屋への水の侵入を防いだりする際に有効な土嚢の作り方を体験します。作った土嚢で実際に水を防ぐ実験も行います。	
15	ポータブルトイレの使い方	20	1人50円	小4～一般	避難先で問題になるトイレ、また、渋滞中に便利なポータブル(簡易)トイレを疑似体験します。	
16	被災者の体験を聞く	20～40	諸費用実費	小～一般	実際に被害にあわれた方の経験、体験を直接聞くことができます。その後質疑応答も可能です。	講師謝礼:2,000円(一人) 他、講師交通費実費
17	災害食試食	15～30	1人100円～	小～一般	用意された非常食を試食し、感想を発表し合います。災害食は平時に食べ慣れておくことが大切です。	※アレルギー要確認

